

センターからのお知らせ

将来の変化に備えた、「米沢版エンディングノート(Doするノート“仮称”)」作成に向け、皆様からお寄せ頂いた、ご意見等を集約し、試作ノートを作成中です。

今月号も、前回(7月号)に引き続き、ご意見等(一部抜粋・第2弾)を掲載しております。

今後は、試作ノートについて、多職種の方々から意見を頂き、修正を重ね、11月頃を目途に、使いやすいノート作成に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、ご協力よろしく申し上げます。



米沢市マスコットキャラクター

直江兼続/かねたん©akiokano

「生きて逝くノート(国診協版)」を記入してみ
て、ご意見・ご感想(一部抜粋・第2弾)

ご意見・ご感想等

- ・余命宣告された時のタイミングであれば記載したいが、今は記載の気持ちになれない。
- ・プロフィールはいらない→自分の過去は他人にしられたくないと思うので。
- ・わたしの歩み→中々昔のことを、思い出して書くのが難しく感じた。
- ・米沢版を作るのであれば、相談できる場所を載せてほしい。
- ・自宅での最期の場合、どのような条件があれば可能なのか説明が足りない。
- ・緩和ケアについて、どこに相談すればよいのか書いていない。
- ・米沢版エンディングノートを作成する主旨が良く分かりません。地域性?を重要視する必要がどこにあるのか不明です。
- ・どのタイミングで書いてもらうのが、ベストなのか考える必要があると感じた。
- ・最高の最期のときの迎え方など?なんか、死ぬために生きている感じ。
- ・エンディングノートの記載をきっかけに身辺整理をしていこうと思った。
- ・患者さんに、このノートをご案内すると良いのか、話のきっかけが難しいと感じています。その辺のくふうの実際があれば、教えて頂きたいと思いました。
- ・ACPと言われているが、なかなか患者に対し、言葉を上手く伝えられない場面が多かった。エンディングノートを用いて、患者さんにも考えるきっかけ作りができるのではないかと思います。
- ・「エンディングノート」を記入する意味について、「公民館カフェ」などのような形式や、公開講座などで、市民に教育していかないと、周知は難しいと思います。
ここがスタートのような気がします。

「生きて逝くノート(国診協版)」を記入してみ
て、ご意見・ご感想(一部抜粋・第2弾)

ご意見・感想等

- ・介護について具体的に書けるようにした方が書きやすい。例えば、在宅、施設、病院など
- ・終末期医療の希望について、具体的にどの治療を希望するのか。これを知る事により、本人が一番望んでいる形に導くことが出来るのでは。
- ・改めて考えると「死はまだ遠い」と思い記入できない項目が多かった。
- ・今回、コロナという未知のウィルスにより、罹ったら、2週間位で亡くなる人もいて、エンディングノートは必要だと感じています。
- ・エンディングノートと聞くと、終末期に向けて暗いイメージがありましたが、終活だけでなく、家族と今後について会話する良い機会だと思う。

これからが
普及啓発

